



町田二小だより

2025年1月8日
町田市立町田第二小学校
校長 卜部 敦彦
NO.9

学び続ける

校長 卜部 敦彦

新年あけましておめでとうございます。お正月は、ご家族でゆっくりと新しい年を迎えられたことと思います。2025年が、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとりまして、希望に満ちたよい年になりますよう心から願っています。

さて、昨年12月に「PISA」や「TIMSS2023」といった世界的な学力調査の結果が公表され、日本の子どもたちは上位の結果を出したことが分かりました。この公表された学力調査の一つに、経済協力開発機構（OECD）が、成人の社会生活スキルをはかる「国際成人力調査（PIAAC[ピアック]）」がありました。「PIAAC」は2011～12年に初めて行われ、今回が2回目となります。22～23年に31カ国・地域の約16万人が参加し、日本は無作為に抽出された5165人が参加したとのことでした。

日本は全3分野（①読解力②数的思考力③状況の変化に応じた問題解決能力※③は今回から実施）で1～2位となり、2分野で1位だった前回に引き続き、世界トップ水準を維持したそうです。ただ、日本にもいくつかの課題があることが指摘され、若者世代（16～24歳）の高い平均得点が全体をけん引しているため、社会人のリスキリング（学び直し）が必要とされたようです。

世界や社会が今後どう移り変わっていくか分からない時代がこれからも続くのは間違いないと考えられます。環境に関わる課題やAIの進化に伴う課題など様々な変化が続くことと思います。この変化に対応したり順応したりするためには、学び続けることが必須になります。そんな中、意思決定には「OODA（ウーダ）ループ」が求められていると言われていています。OODAは「観察する（Observe）」「状況を理解する（Orient）」「決める（Decide）」「動く（Act）」の頭文字をとった言葉です。「PDCA（計画、実行、評価、改善）」という業務改善の手法が浸透していますが、何が起こるか分からない現在では、PDCAでは、計画を立てるまでに時間がかかり、実行可能な計画を立てること自体が難しくなっていると言われていています。今日立てた計画が、1日後には役に立たなくなっているという状況もあるようです。代わりに、観察と状況判断から始まり実行する。そんな柔軟でスピーディーな姿勢が大事になってくることです。もちろんOODAは気を付けないと思い付きなどよく考えずに決定してしまう側面もあります。冬休みが明け、あっという間に過ぎていくこれからの3か月の学校生活で、子どもたちが次年度に向けてよりよい成長ができるように、一人一人の学習の状況や行動の状況をしっかり見取り、支援を行ってまいります。また、じっくり考えることと柔軟に考えることの両面から子どもたち自身が自分を見つめ、どう変容すればよいかを考えられるよう、学年に応じて育成していきます。

旧年中は、保護者、地域の皆様に大変お世話になり、心より感謝申し上げます。本年も本校の教育活動にご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

引用・参照：日本経済新聞 TBS NEWS DIG セールスマネージャーRemix

1月の主な予定 ～ 1月の生活目標～ 【きちんとしたあいさつや返事をしよう】

8	水	登校再開日 午前授業 全校朝会	20	月	EYE♡TIME クラブ（3年生見学）
9	木	給食始 計測（3,4）委員会	22	水	午前授業 校内書写展終
10	金	短なわ跳び月間始 安全指導日 計測（5,6）	23	木	なかよし班遊び
13	月	成人の日	27	月	全校朝会 移動教室事前検診（5）
14	火	計測（1,2,若）	28	火	移動教室始（5）
15	水	午前授業 MNE公開①（5,6）校内書写展始	29	水	体育朝会 移動教室終（5）
16	木	MNE公開②（2,4）	30	木	午前授業（5）
17	金	MNE公開③（1,3,若）	31	金	短なわ跳び月間終

※児童に予告なしの避難訓練が1回入ります。



